

第2期香取市子ども・子育て支援事業計画

子ども・子育て支援に関する

アンケート調査報告書【概要版】（案）

目 次

◆◆調査概要◆◆	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象および調査方法	1
3. 回収状況	1
4. 分析・表示について	1
◆◆就学前児童保護者◆◆	2
1. 子どもとご家族の状況について	2
(1) 子どもの年齢	2
(2) 調査票回答者	2
(3) 子育てを主に行っている人	2
(5) 居住地区	3
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	4
(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設	4
(2) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無	4
3. 保護者の就労状況について	5
(1) 保護者の就労状況	5
(2) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望	6
(3) 現在就労していない母親の就労希望	6
4. 平日の保育所（園）や幼稚園等の利用状況について	7
(1) 保育所（園）や幼稚園等の施設・サービスの利用状況	7
(2) 現在利用している保育所（園）や幼稚園等の施設・サービス	7
(3) 現在、施設・サービスを利用している理由	8
(4) 施設・サービスを利用していない理由	9
(5) 今後、定期的に利用したい施設・サービス	10
(6) 施設・サービスを選ぶときに重視する点	11
5. 土曜日・日曜日・祝日の保育所（園）や幼稚園などの利用について	12

(1) 土曜日・日曜日・祝日の定期的な施設・サービスの利用希望	12
6. お子さんの一時預かりについて	13
(1) 私用等の目的での一時預かりの利用希望	13
7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	14
(1) 低学年時に子どもを放課後過ごさせたい場所	14
(2) 高学年になった場合に子どもを放課後過ごさせたい場所	15
8. 子育て全般について	16
(1) 香取市の子育てしやすさ	16
(2) 子育てしやすいまちだと思ふ理由	17
(3) 子育てしやすいまちだと思わない理由	18
(4) 今後重要だと思ふ子育て支援	20
1. 子どもとご家族の状況について	22
(1) 子どもの学年	22
(2) 調査票回答者	22
(3) 子育てを主に行っている人	22
(4) 居住地区	23
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	24
(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設	24
(2) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無	24
3. 保護者の就労状況について	25
(1) 保護者の就労状況	25
(2) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望	26
(3) 現在就労していない母親の就労希望	26
4. 放課後の過ごし方について	27
(1) 現在の放課後過ごし方	27
(2) 高学年になった場合に子どもを放課後過ごさせたい場所	28
5. 子育て全般について	29
(1) 香取市の子育てしやすさ	29
(2) 子育てしやすいまちだと思ふ理由	30
(3) 子育てしやすいまちだと思わない理由	31
(4) 今後重要だと思ふ子育て支援	33
◆◆まとめ◆◆	35
(1) 保護者の就労状況について	35
(2) 教育・保育等施設・サービスの利用と利用意向について	35
(3) 放課後の過ごし方について	35
(4) 子育て支援全般について	35

◆◆調査概要◆◆

1. 調査の目的

本調査は、より一層の子育て支援施策の充実に向けて、「第2期香取市子ども・子育て支援事業計画」の資料とするため、保育ニーズや子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に、ニーズ調査として実施しました。

2. 調査対象および調査方法

調査実施日：平成30年11月

	調査対象者	対象者数	
1	就学前児童 保護者	2,053人	保育所（園）・幼稚園就園児は各園を通じた配布・回収 未就園児は郵送配布・回収
2	小学生保護者	1,383人	小学1～3年生を対象に学校を通じた配布・回収

3. 回収状況

	対象者	配付数	回収数	回収率(%)
1	就学前児童保護者	2,053件	1,478件	72.0%
2	小学生保護者	1,383件	1,156件	83.6%

4. 分析・表示について

- ・比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計が100.0%とならないこともあります。
- ・複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っています。このため、比率計が100%を超えることがあります。
- ・グラフ中の（N:〇〇）という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。
- ・クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があるため、単純集計の結果と合致しない場合があります。
- ・前回調査は、第1期子ども・子育て支援事業計画策定時に行なったニーズ調査（平成25年実施）を指します。

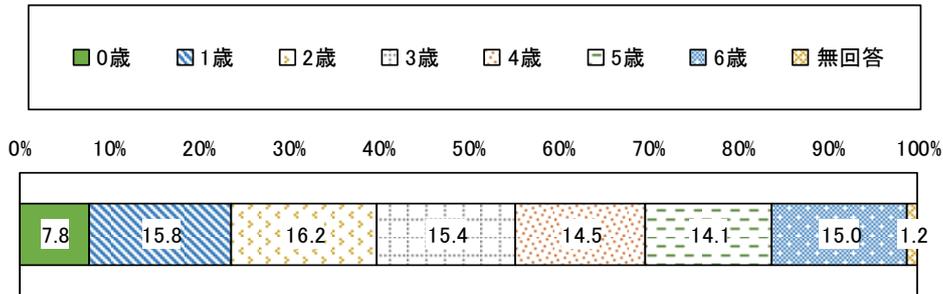
◆◆就学前児童保護者◆◆

1. 子どもとご家族の状況について

(1) 子どもの年齢

お子さんの生年月月をご記入ください。(数字を記入)【問1】

(n=1,478)

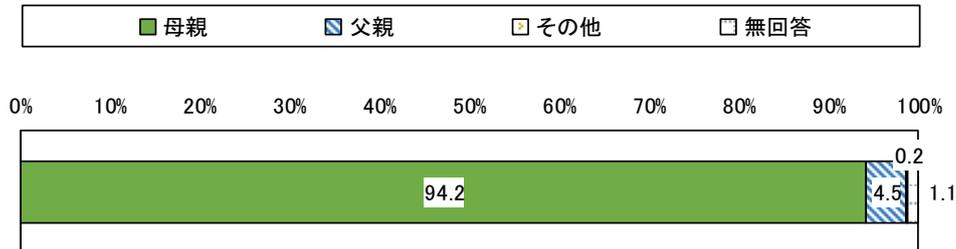


お子さんの年齢は、「0歳」が7.8%、「1・2歳」が32.0%、「3歳以上」が59.0%となっています。

(2) 調査票回答者

アンケートの記入者は、どなたですか。(1つに○)【問3】

(n=1,478)

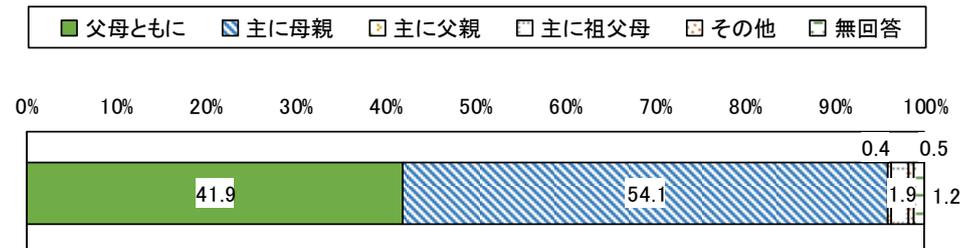


調査票の回答者については、「母親」が94.2%、「父親」が4.5%となっています。

(3) 子育てを主に行っている人

お子さんの子育てを主にしている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)【問5】

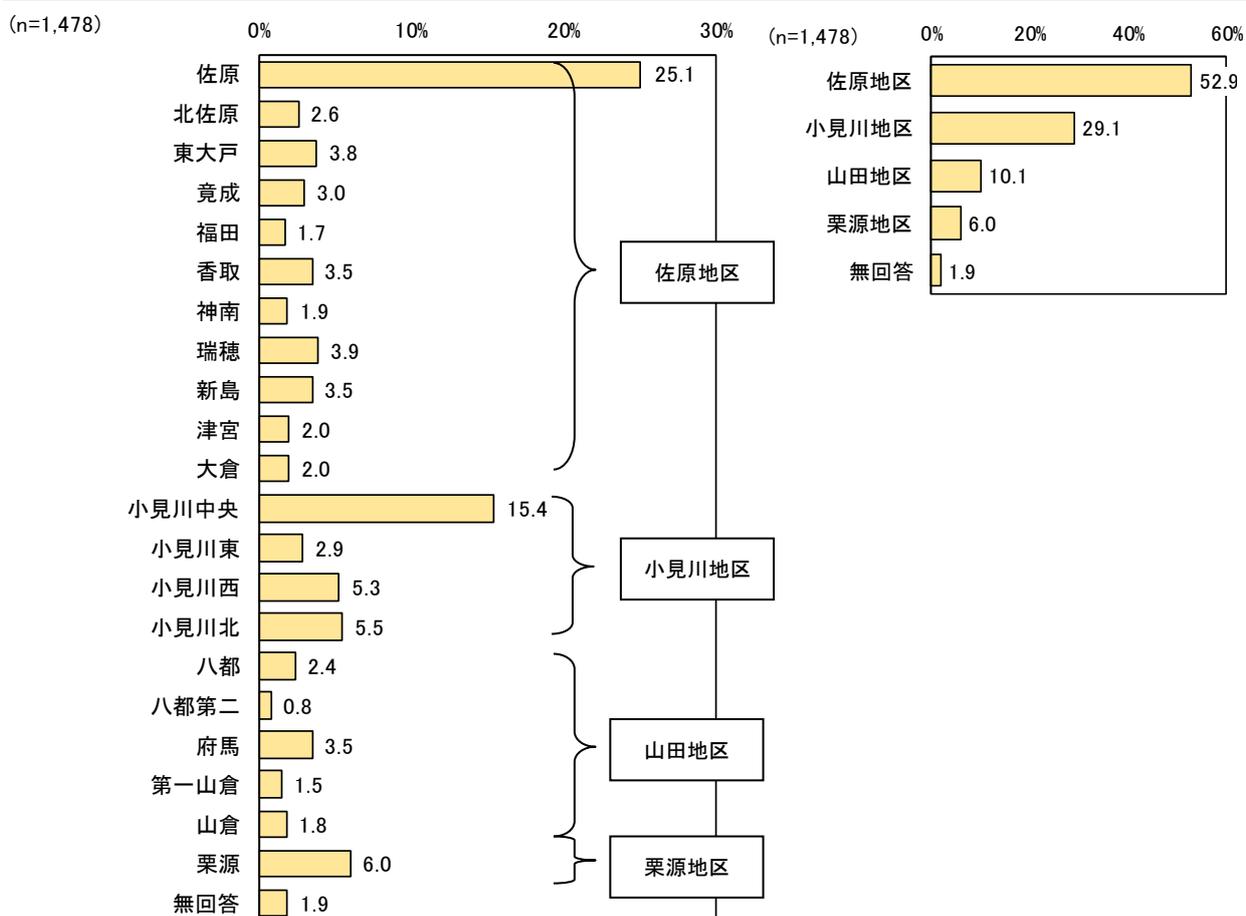
(n=1,478)



子育てを主に行っている人については、「主に母親」が54.1%と過半数を占めています。

(5) 居住地区

お住まいの小学校区は、どちらですか。(1つに○)【問6】

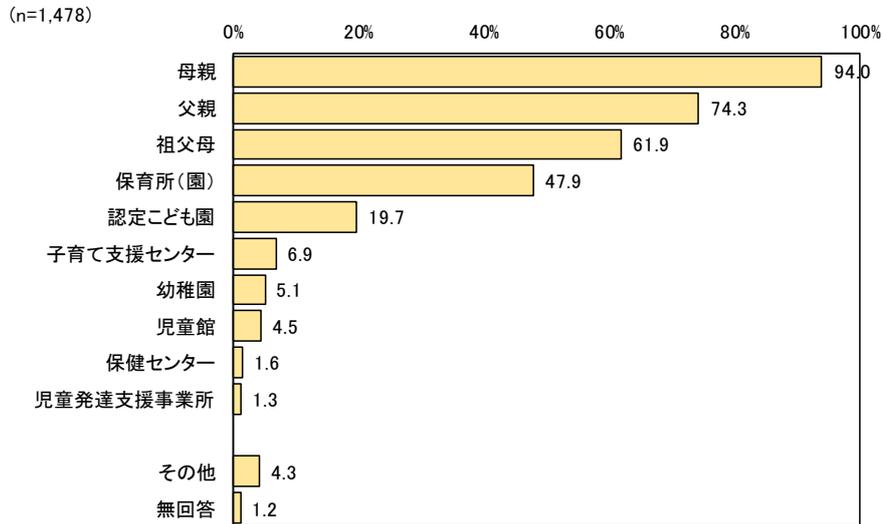


回答者の小学校区は、「佐原」との回答が25.1%と最も多く、次いで「小見川中央」が15.4%、「栗源」が6.0%となっています。また、小学校区を地域別で再集計すると、「佐原地区」は52.9%、「小見川地区」が29.1%、「山田地区」が10.1%、「栗源地区」が6.0%となっています。

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

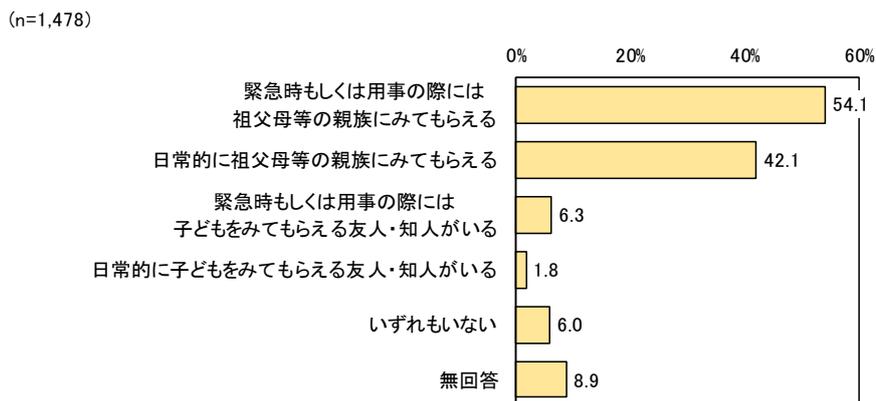
お子さんの子育てに、日常的に関わっている方（施設）すべてに○をつけてください。
 （あてはまるものすべてに○）【問7】



子育てに日常的に関わっている人・施設については、「母親」が94.0%と最も多く、次いで「父親」が74.3%、「祖父母」が61.9%、「保育所(園)」が47.9%と続いています。本市においては、6割を超える保護者が「祖父母」の関わりをあげているのが大きな特徴です。

(2) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

日頃、お子さんをみてもらえる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）【問9】



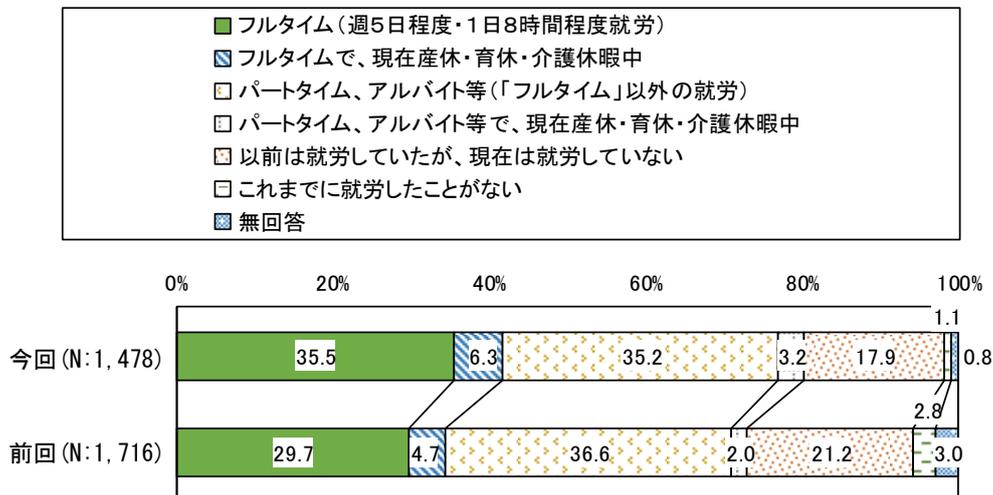
日頃、子どもを預かってもらえる親族の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が54.1%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が42.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が6.3%となっています。おおむね9割程度の家庭は、保護者以外で子どもをみてもらう先が確保されている状況です。

3. 保護者の就労状況について

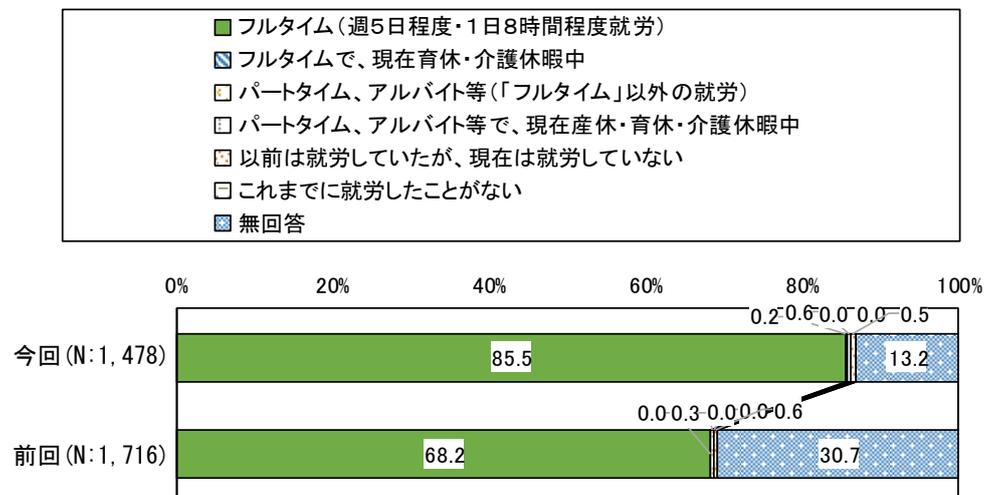
(1) 保護者の就労状況

現在の就労状況を（自営、家業従事含む）お聞きします。（1つに○）【問11】

①母親



②父親



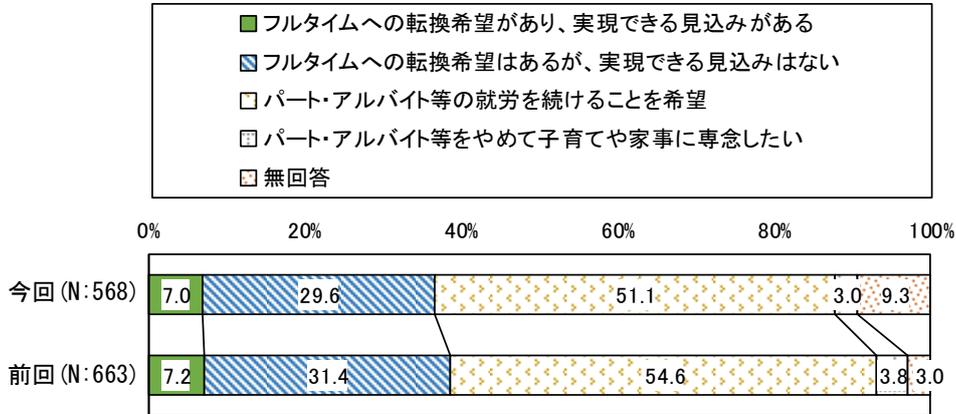
母親の就労状況では、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度就労）」との回答が35.5%と最も多く、次いで「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」が35.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が17.9%と続いています。

フルタイムやパートタイム、アルバイト等で就労していると回答した人の合計が80.2%と、前回調査の73.0%と比べて、7.2ポイント増加しており、全体的に就労している母親が多くなっています。

また、父親の就労状況では、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度就労）」が85.5%と最も多くなっています。

(2) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

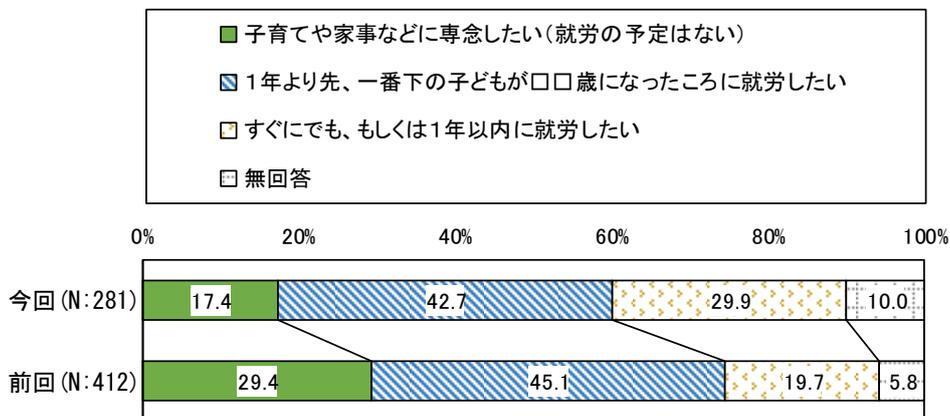
フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ1つに○)【問11-1】



パートタイム、アルバイト等で就労している母親については、36.6%がフルタイムへの転換希望がある（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(7.0%)、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(29.6%)の合計）と回答しています。前回調査と比べても、同様の傾向がみられます。

(3) 現在就労していない母親の就労希望

就労したいという希望はありますか。(1つに○)【問11-2】



現在就労していない母親については 72.6%が今後の就労希望がある（「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(42.7%)と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(29.9%)の合計）と回答しています。また、「子育てや家事などに専念したい」が17.4%となっています。

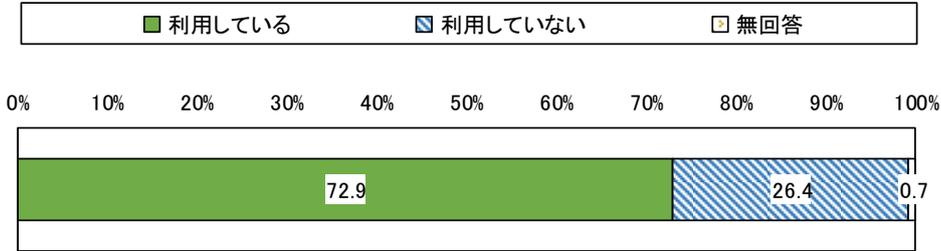
今後の就労希望があると回答した人の合計が72.6%と、前回調査の64.8%と比べて、7.8ポイント増加しており、全体的に就労希望のある母親が増加しています。

4. 平日の保育所（園）や幼稚園等の利用状況について

(1) 保育所（園）や幼稚園等の施設・サービスの利用状況

お子さんは現在、保育所（園）や幼稚園等の施設・サービスを利用されていますか。（1つに○）
【問12】

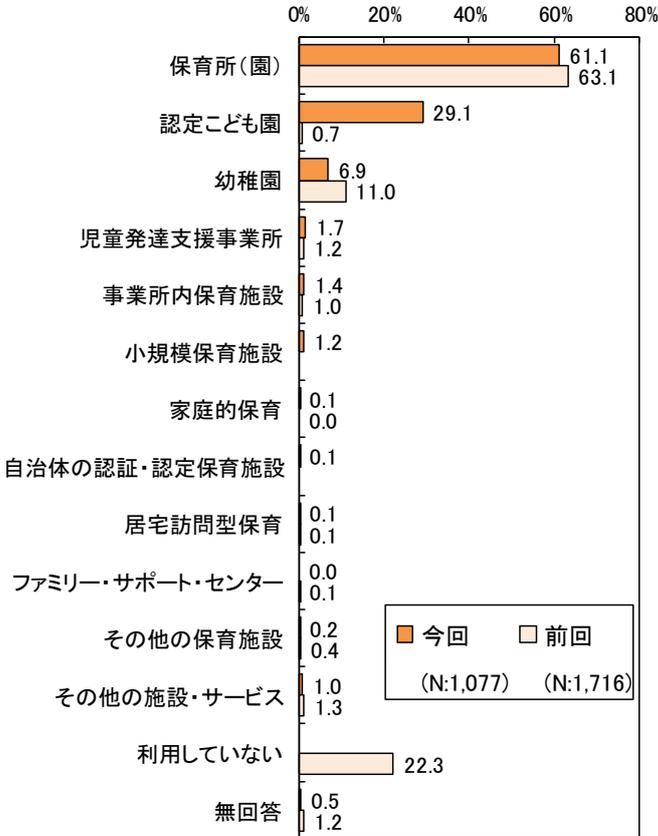
(n=1,478)



保育所（園）や幼稚園等の施設・サービスの利用状況は、「利用している」が72.9%、「利用していない」が26.4%となっています。

(2) 現在利用している保育所（園）や幼稚園等の施設・サービス

平日どのような施設・サービスを利用していますか。
（年間を通じて定期利用しているものすべてに○）【問12-1】



現在利用している施設サービスは、「保育所（園）」が61.1%と最も多く、次いで「認定こども園」が29.1%、「幼稚園」が6.9%となっており、前回調査に比べて、「認定こども園」の利用が多くなっています。

地域別でみると、「佐原地区」、「山田地区」、「栗源地区」では「保育所（園）」、「小見川地区」では「認定こども園」が最も多くなっています。

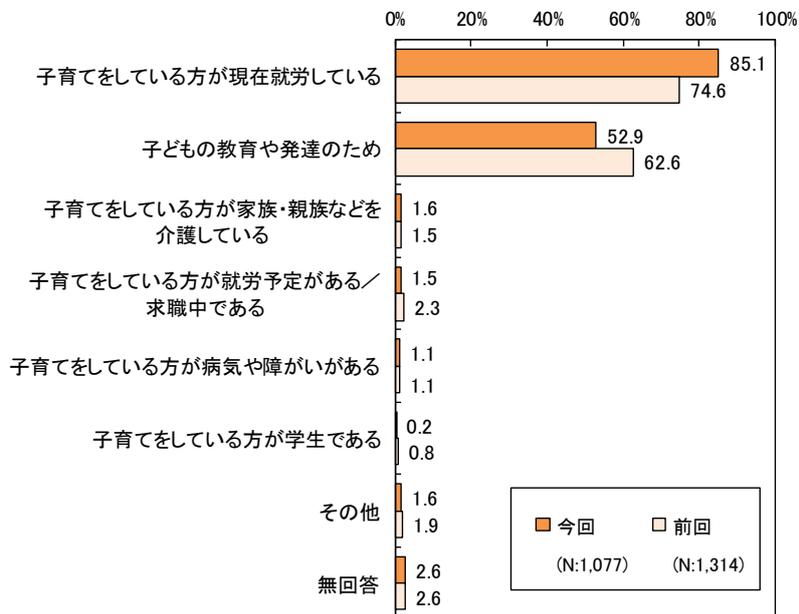
《地域別》

単位：%

	合計 (人)	保育所 (園)	認定 こども 園	幼 稚 園	児 童 発 達 支 援 事 業 所	事 業 所 内 保 育 施 設	小 規 模 保 育 施 設	そ の 他 の 保 育 施 設	家 庭 的 保 育	認 定 保 育 施 設 ・ 自 治 体 の 認 証	居 宅 訪 問 型 保 育	サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー	フ ァ ミ リ ー ・ セ ン タ ー	そ の 他 の 施 設 ・ サ ー ビ ス	無 回 答
全体	1,077	61.1	29.1	6.9	1.7	1.4	1.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	1.0	0.5
佐原地区	558	79.0	5.7	11.5	1.6	1.4	2.0	0.4	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.7	0.5
小見川地区	313	13.4	83.7	1.0	1.6	1.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.3
山田地区	116	87.1	8.6	1.7	1.7	0.9	0.9	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0
栗源地区	70	88.6	2.9	5.7	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	1.4

(3) 現在、施設・サービスを利用している理由

現在、施設・サービスを利用されている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【問12-4】

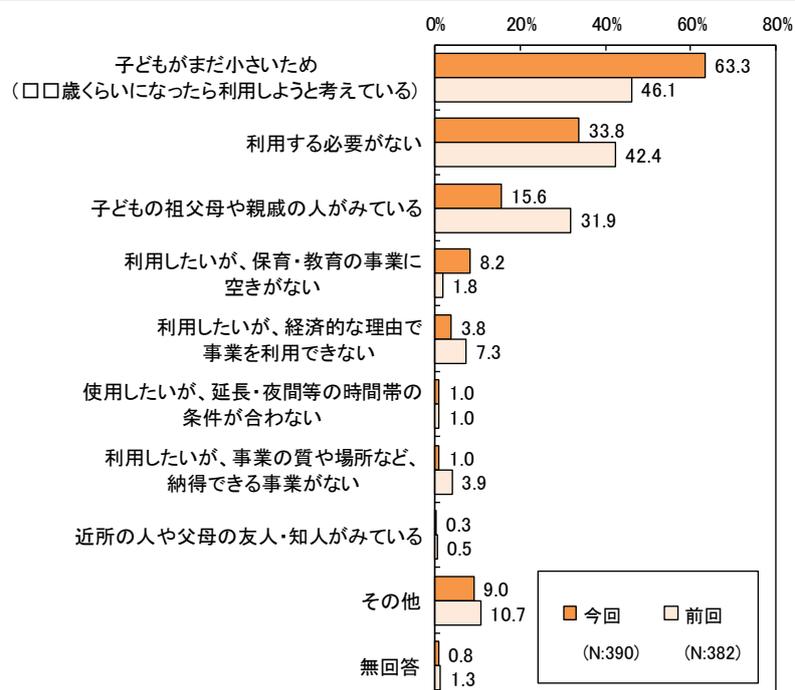


現在、施設・サービスを利用している理由としては、「子育てをしている方が現在就労している」が85.1%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が52.9%と、これらが上位となっています。

前回調査と比べてみると、「子育てをしている方が現在就労している」が10.5ポイント増加し、「子どもの教育や発達のため」が9.7ポイント減少しています。

(4) 施設・サービスを利用していない理由

現在、利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【問12-8】

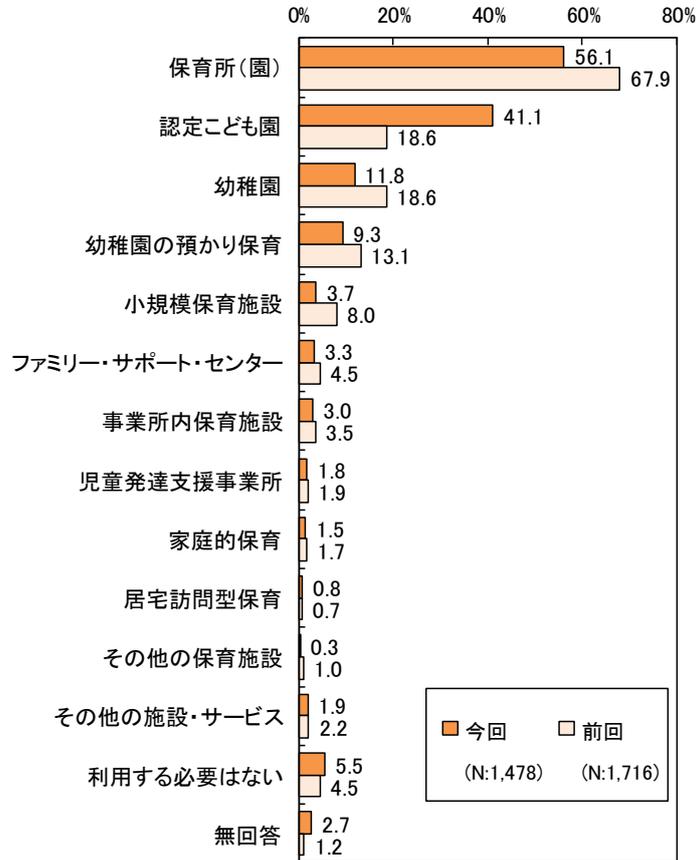


施設・サービスを利用していない理由としては、「子どもがまだ小さいため」が 63.3%と最も多く、次いで「利用する必要がある」が 33.8%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が 15.6%となっています。

前回調査と比べてみると、「子どもがまだ小さいため」が 17.2 ポイント増加し、「利用する必要がある」が 8.6 ポイント、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が 16.3 ポイント減少しています。

(5) 今後、定期的にご利用したい施設・サービス

お子さんが平日に定期利用するものとして、今後も利用を続けたい、もしくは、新たに利用したいものはどれですか。(定期利用したいものすべてに○)【問13】



今後利用したい施設・サービスについては、「保育所(園)」との回答が56.1%と最も多く、次いで「認定こども園」が41.1%、「幼稚園」が11.8%となっています。

前回調査に比べて、「保育所(園)」が11.8ポイント減少し、「認定こども園」が22.5ポイント増加しています。

地域別でみると、「佐原地区」「山田地区」「栗源地区」では「保育所(園)」、「小見川地区」では「認定こども園」が最も多くなっています。

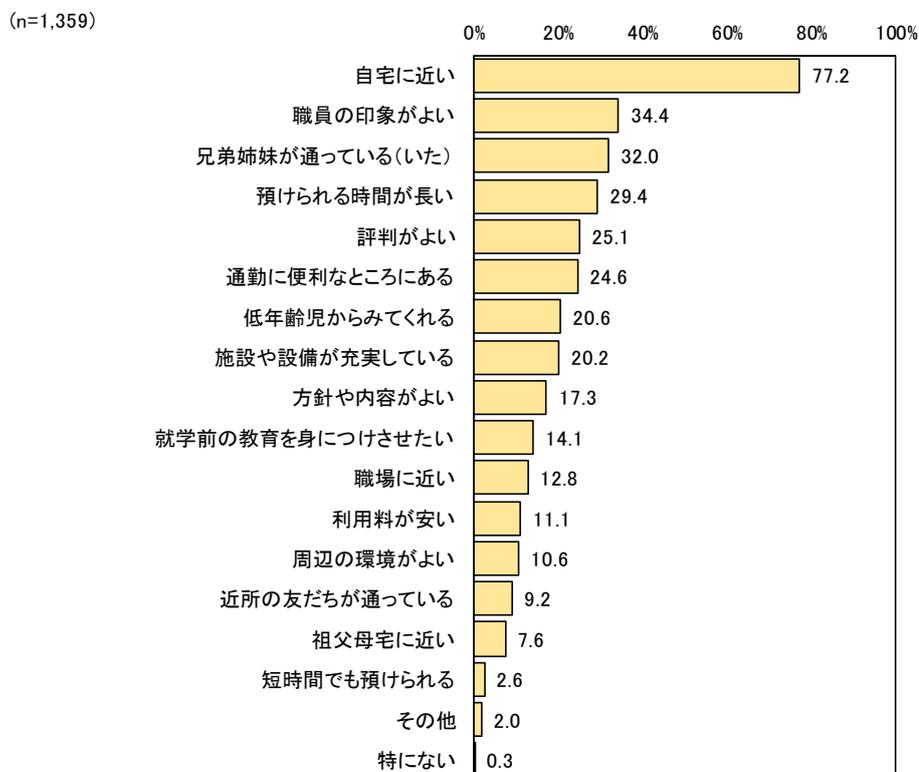
《地域別》

単位：%

	合計(人)	保育所(園)	認定こども園	幼稚園	幼稚園の預かり保育	小規模保育施設	ファミリー・サポート・センター	事業所内保育施設	児童発達支援事業所	家庭的保育	居宅訪問型保育	その他の保育施設	その他の施設・サービス	利用する必要はない	無回答
全体	1,478	56.1	41.1	11.8	9.3	3.7	3.3	3.0	1.8	1.5	0.8	0.3	1.9	5.5	2.7
佐原地区	782	69.7	26.2	17.0	13.0	4.3	4.1	3.3	1.5	1.2	0.9	0.3	1.7	5.6	2.8
小見川地区	430	19.3	80.9	5.1	5.1	3.0	2.6	3.0	2.1	2.6	0.9	0.5	1.4	5.6	2.1
山田地区	149	77.9	21.5	6.7	4.7	4.7	2.7	3.4	2.0	1.3	0.7	0.7	4.7	6.0	1.3
栗源地区	89	77.5	14.6	9.0	5.6	0.0	2.2	1.1	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	3.4	5.6

(6) 施設・サービスを選ぶときに重視する点

施設・サービスを選ぶとき、特にどのような点を重視しますか。【問13-3】
(主なもの3つまでに○)



「自宅に近い」が77.2%と最も多く、次いで「職員の印象がよい」が34.4%、「兄弟姉妹が通っている(いた)」が32.0%となっています。

地域別でみると、地域全体で共通して「自宅に近い」が最も多くなっています。「佐原地区」、「小見川地区」では「職員の印象がよい」、「山田地区」、「栗源地区」では「兄弟姉妹が通っている(いた)」、「近所の友だちが通っている」が他の地域に比べて多くなっています。

《地域別》

単位：%

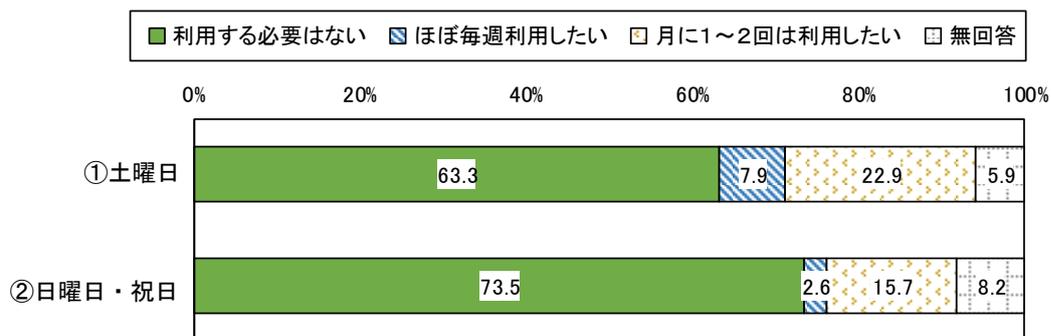
	合計(人)	自宅に近い	職員の印象がよい	兄弟姉妹が通っている(いた)	預けられる時間が長い	評判がよい	通勤に便利なおところにある	低年齢児からみてくれる	施設や設備が充実している	方針や内容がよい	就学前の教育を身につけさせたい	職場に近い	利用料が安い	周辺環境がよい	近所の友だちが通っている	祖父母宅に近い	短時間でも預けられる	その他	特にない	無回答
全体	1,359	77.2	34.4	32.0	29.4	25.1	24.6	20.6	20.2	17.3	14.1	12.8	11.1	10.6	9.2	7.6	2.6	2.0	0.3	2.2
佐原地区	717	75.6	37.0	31.0	32.2	26.8	25.5	20.5	19.8	17.7	14.4	12.6	11.6	10.3	8.4	9.3	2.8	2.4	0.1	1.7
小見川地区	398	76.6	32.7	31.7	23.9	27.1	23.6	19.3	25.1	19.3	15.3	13.1	10.8	12.1	8.0	5.5	1.8	1.0	0.5	2.3
山田地区	139	81.3	29.5	37.4	28.8	18.7	30.9	20.9	15.1	10.8	12.2	11.5	10.8	9.4	15.1	7.2	2.9	1.4	0.0	5.0
栗源地区	81	85.2	28.4	35.8	28.4	9.9	8.6	22.2	11.1	13.6	8.6	16.0	8.6	9.9	14.8	2.5	3.7	4.9	1.2	2.5

5. 土曜日・日曜日・祝日の保育所（園）や幼稚園などの利用について

（1）土曜日・日曜日・祝日の定期的な施設・サービスの利用希望

お子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、保育所（園）や幼稚園等の利用希望（一時的な利用は除く）がありますか。（それぞれ1つに○）【問15】

(n=1,478)



土曜日の施設・サービスの利用希望をみると、「ほぼ毎週利用したい」が7.9%、「月に1～2回は利用したい」が22.9%となっています。

一方、63.3%が「利用する必要はない」と回答しています。

日曜日・祝日の施設・サービスの利用希望をみると、「ほぼ毎週利用したい」が2.6%、「月に1～2回は利用したい」が15.7%となっています。

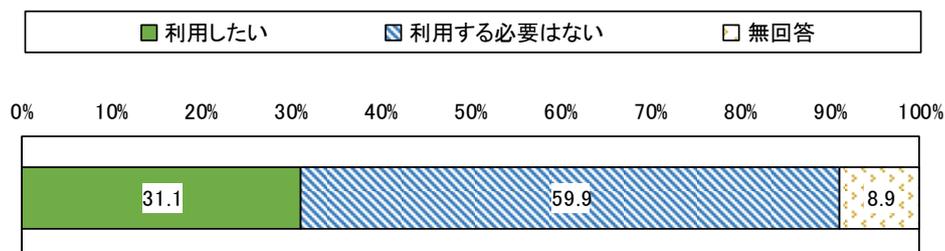
一方、73.5%が「利用する必要はない」と回答しています。

6. お子さんの一時預かりについて

(1) 私用等の目的での一時預かりの利用希望

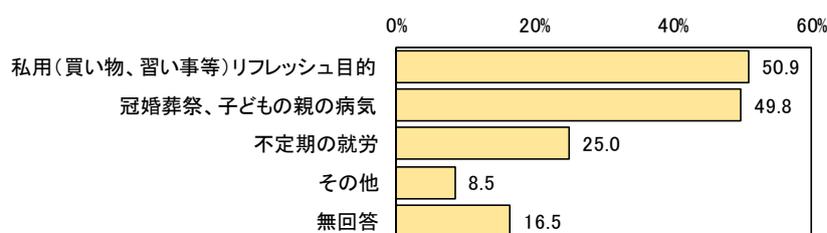
私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や親の病気、あるいは就労のため、お子さんについて、一時預かりを利用する必要があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)【問18】

(n=1,478)



【一時預かりの利用目的】

(n=460)



私用等の目的で一時預かりを利用する必要があるかたずねたところ、「利用したい」が31.1%、「利用する必要はない」が59.9%となっています。

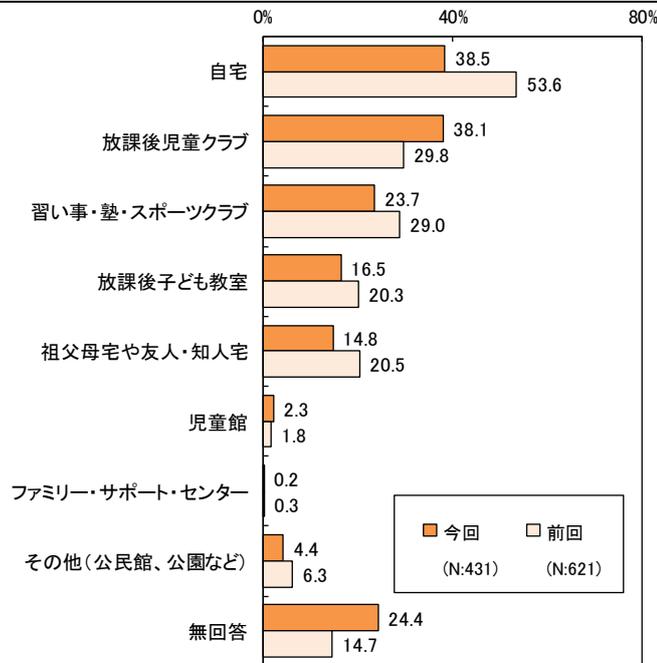
一時預かりを利用したいと回答した方に、利用目的をたずねたところ、「私用(買い物、習い事等)リフレッシュ目的」が50.9%と最も多く、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」が49.8%、「不定期の就労」が25.0%となっています。

7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

【お子さんが5歳以上の方のみ回答】

(1) 低学年時に子どもを放課後過ごさせたい場所

お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）【問23】



小学校低学年（1～3年生）のうち放課後の時間をどこで過ごさせたいかをたずねたところ、「自宅」が38.5%と最も多く、次いで、「放課後児童クラブ」が38.1%、「習い事・塾・スポーツクラブ」が23.7%となっています。

前回調査と比べてみると、「自宅」が15.1ポイント減少し、「放課後児童クラブ」が8.3ポイント増加しています。

地域別でみると、「佐原地区」、「小見川地区」では「自宅」、「山田地区」、「栗源地区」では「放課後児童クラブ」が最も多くなっています。また、「佐原地区」、「小見川地区」では「祖父母宅や友人・知人宅」が他の地域に比べて多くなっています。

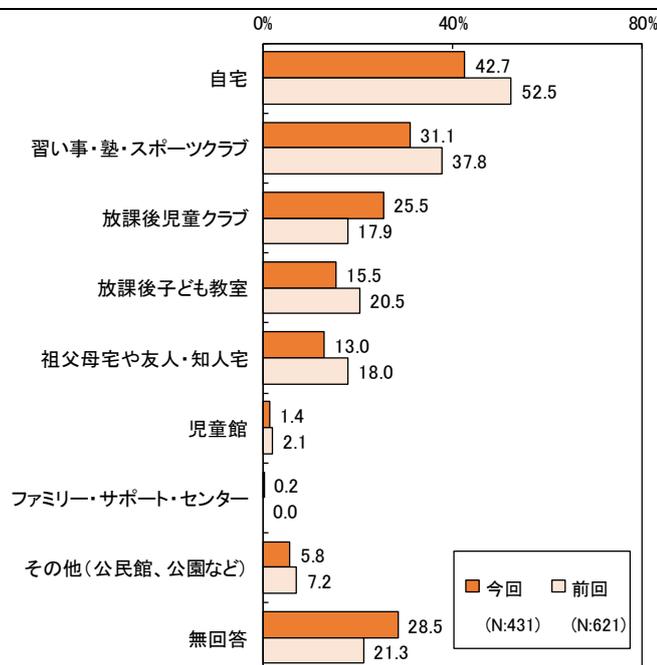
《地域別》

単位：%

	合計 (人)	自宅	放課後児童クラブ	習い事・塾・スポーツクラブ	放課後子ども教室	祖父母宅や友人・知人宅	児童館	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)	無回答
全体	431	38.5	38.1	23.7	16.5	14.8	2.3	0.2	4.4	24.4
佐原地区	223	39.9	38.6	24.7	17.9	15.2	2.2	0.0	6.3	21.1
小見川地区	125	36.0	33.6	22.4	14.4	18.4	2.4	0.0	3.2	29.6
山田地区	51	41.2	47.1	25.5	19.6	7.8	3.9	2.0	2.0	19.6
栗源地区	30	33.3	40.0	16.7	10.0	6.7	0.0	0.0	0.0	33.3

(2) 高学年になった場合に子どもを放課後過ごさせたい場所

小学校高学年（4～6年生）の放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）【問24】



小学校高学年（4～6年生）になった場合に放課後の時間をどこで過ごさせたいかをたずねたところ、「自宅」が42.7%と最も多く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」が31.1%、「放課後児童クラブ」が25.5%となっています。

前回調査と比べてみると、「自宅」が9.8ポイント減少し、「放課後児童クラブ」が7.6ポイント増加しています。

地域別でみると、全体と同様に「自宅」、「習い事・塾・スポーツクラブ」、「放課後児童クラブ」が多くなっています。また、「山田地区」では「放課後子ども教室」が他の地域に比べて多くなっています。

《地域別》

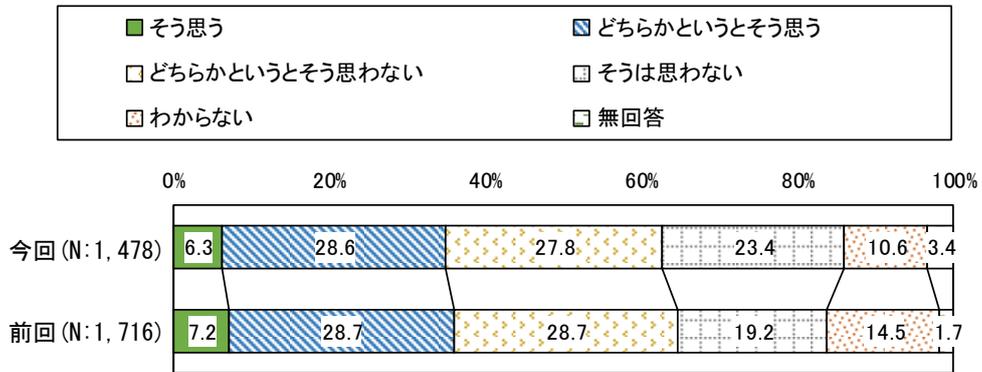
単位: %

	合計 (人)	自宅	習い事・塾・スポーツクラブ	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	祖父母宅や友人・知人宅	児童館	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)	無回答
全体	431	42.7	31.1	25.5	15.5	13.0	1.4	0.2	5.8	28.5
佐原地区	223	41.7	32.7	30.0	17.9	13.9	1.3	0.0	8.1	23.3
小見川地区	125	42.4	28.0	19.2	10.4	13.6	0.8	0.0	4.8	35.2
山田地区	51	51.0	31.4	21.6	23.5	9.8	2.0	2.0	0.0	29.4
栗源地区	30	40.0	30.0	26.7	6.7	6.7	3.3	0.0	3.3	36.7

8. 子育て全般について

(1) 香取市の子育てしやすさ

香取市は、子育てをしやすいまちだと思いますか。(1つに○)【問26】



香取市は子育てしやすいまちだと思うかについては、「そう思う」(6.3%)と「どちらかというと思う」(28.6%)を合わせると34.9%となっており、「どちらかというと思わない」(27.8%)、「そうは思わない」(23.4%)を合わせた51.2%を下回っています。

前回調査と比べて、「そうは思わない」が4.2ポイント増加していますが、全体的にほぼ同様の傾向がうかがえます。

地域別でみると、「小見川地区」では、「そう思う」(7.0%)と「どちらかというと思う」(31.6%)と回答した割合が38.6%と他の地域より多くなっています。

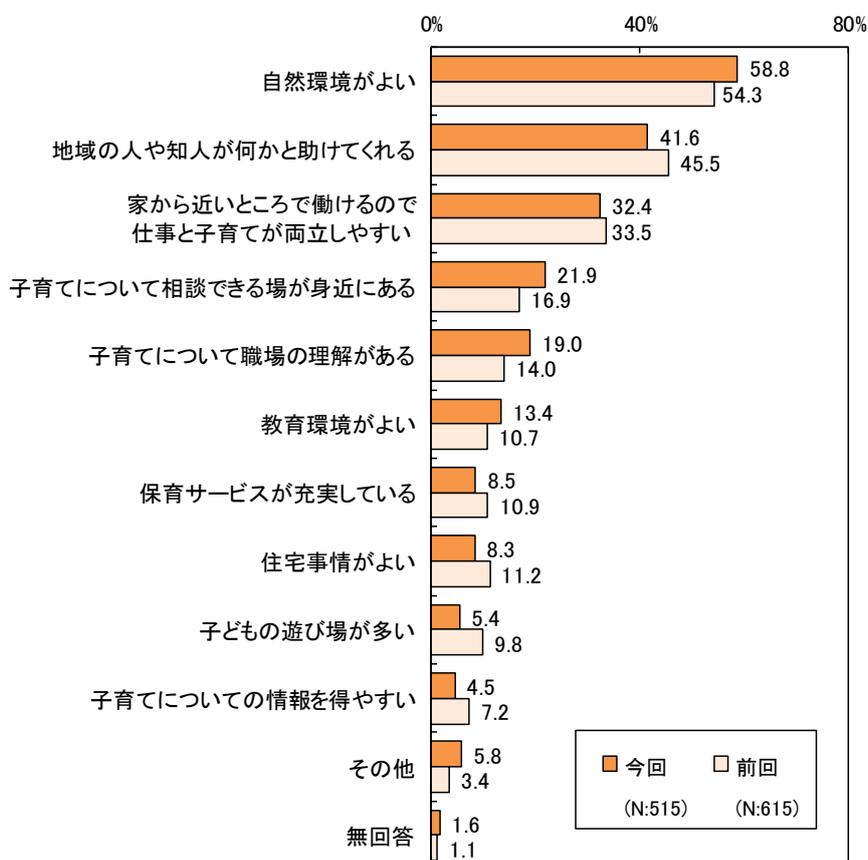
《地域別》

単位：%

	合計 (人)	そう 思う	そ ど ち ら か と い う と	そ ど ち ら か と い う と	そ う は 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	1,478	6.3	28.6	27.8	23.4	10.6	3.4
佐原地区	782	6.0	26.5	29.9	25.7	9.1	2.8
小見川地区	430	7.0	31.6	27.2	17.7	12.3	4.2
山田地区	149	4.7	30.9	19.5	30.9	11.4	2.7
栗源地区	89	7.9	28.1	24.7	19.1	14.6	5.6

(2) 子育てしやすいまちだと思ふ理由

問26で「1 そう思う」または「2 どちらかというと思う」とお答えの方
その理由は何ですか。(主なもの3つまでに○)【問26-1】



子育てしやすいまちだと思ふ理由は、「自然環境が良い」が58.8%と最も多く、次いで「地域の人や知人が何かと助けてくれる」が41.6%、「家から近いところで働けるので仕事と子育てが両立しやすい」が32.4%となっており、前回調査と同様の傾向がうかがえます。

地域別でみると、全体と同様に「自然環境がよい」が最も多く、特に「山田地区」、「栗源地区」で多くなっています。また、「山田地区」では、「地域の人や知人が何かと助けてくれる」が他の地域に比べて多くなっています。

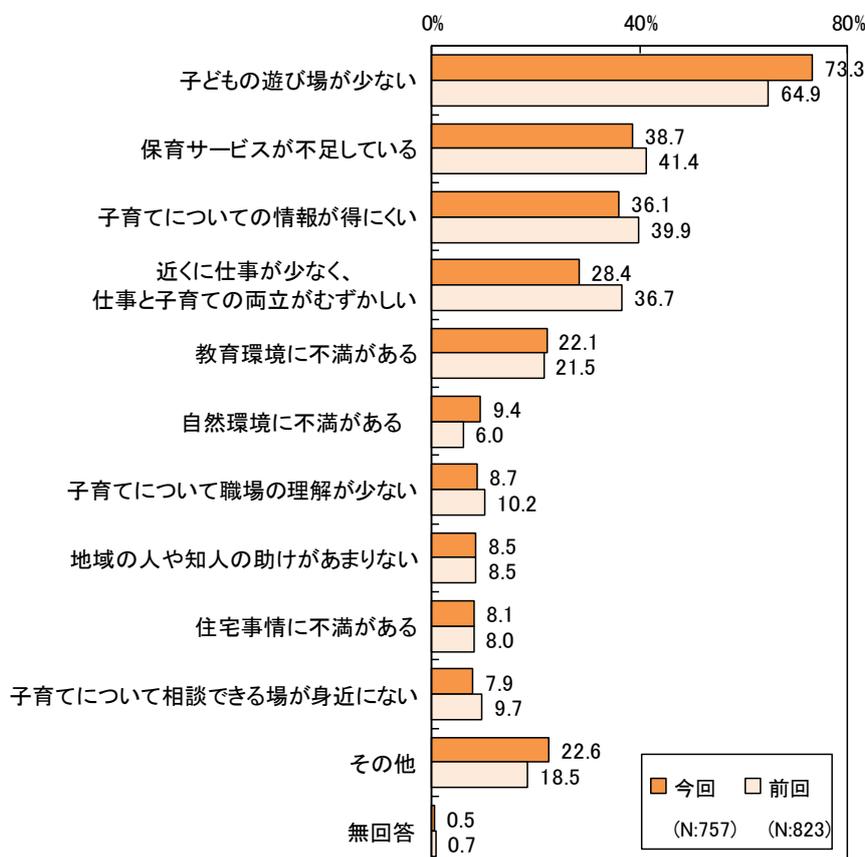
《地域別》

単位：%

	合計 (人)	自然環境がよい	地域の人や知人が何かと助けてくれる	仕事と子育てが両立しやすい	家から近いところで働けるので	子育てについて相談できる場が身近にある	子育てについて職場の理解がある	教育環境がよい	保育サービスが充実している	住宅事情がよい	子どもの遊び場が多い	子育てについての情報を得やすい	その他	無回答
全体	515	58.8	41.6	32.4	21.9	19.0	13.4	8.5	8.3	5.4	4.5	5.8	1.6	
佐原地区	254	52.0	42.9	30.3	22.0	22.0	15.0	6.7	7.9	5.5	3.5	4.3	2.0	
小見川地区	166	56.0	38.0	36.7	21.1	14.5	12.7	9.0	7.8	5.4	7.8	9.6	1.8	
山田地区	53	79.2	50.9	37.7	22.6	17.0	9.4	11.3	13.2	3.8	0.0	3.8	0.0	
栗源地区	32	93.8	34.4	21.9	21.9	18.8	15.6	15.6	6.3	9.4	0.0	0.0	0.0	

(3) 子育てしやすいまちだと思わない理由

問26で「3 どちらかというと思わない」または「4 そうは思わない」とお答えの方その理由は何ですか。(主なもの3つまでに○)【問26-2】



子育てしやすいまちだと思わない理由は、「子どもの遊び場が少ない」が 73.3%と最も多く、次いで「保育サービスが不足している」が 38.7%、「子育てについての情報が得にくい」が 36.1%となっています。

前回調査と比べて、「子どもの遊び場が少ない」が 8.4 ポイント増加し、「近くに仕事が少ない、仕事と子育ての両立がむずかしい」が 8.3 ポイント減少しています。

地域別でみると、「佐原地区」、「小見川地区」、「山田地区」では、「子どもの遊び場が少ない」が最も多く、「栗源地区」では、「子どもの遊び場が少ない」と「子育てについての情報が得にくい」が同率で最も多くなっています。

また、「栗源地区」では「教育環境に不満がある」が他の地域に比べて多くなっています。

《地域別》

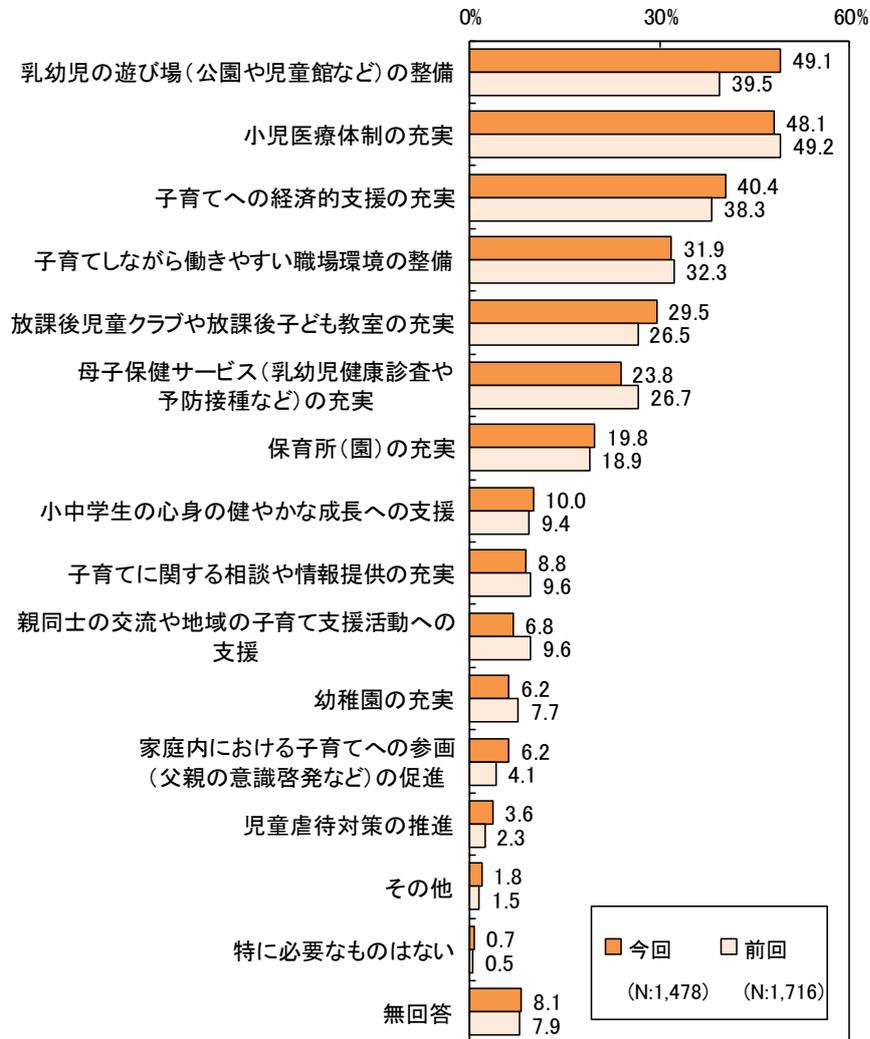
単位：%

	合計 (人)	子どもの遊び場が少ない	保育サービスが不足している	子育てについての情報が得にくい	近くに仕事が少ない、仕事と子育ての両立がむずかしい	教育環境に不満がある	自然環境に不満がある	子育てについて職場の理解が少ない	地域の人や知人の助けがあまりない	住宅事情に不満がある	子育てについて相談できる場が身近にない	その他	無回答
全体	757	73.3	38.7	36.1	28.4	22.1	9.4	8.7	8.5	8.1	7.9	22.6	0.5
佐原地区	435	75.4	43.0	35.6	28.0	20.0	10.6	8.7	8.0	8.5	7.6	20.7	0.2
小見川地区	193	74.6	29.0	36.3	29.5	21.8	7.3	8.8	10.4	7.3	8.3	25.9	0.5
山田地区	75	70.7	40.0	30.7	28.0	26.7	9.3	9.3	6.7	6.7	5.3	22.7	1.3
栗源地区	39	48.7	38.5	48.7	25.6	43.6	5.1	5.1	10.3	10.3	15.4	25.6	2.6

(4) 今後重要だと思う子育て支援

子育てをしやすいまちづくりのために、今後どのようなことが最も重要だと思いますか。

(主なもの3つまでに○)【問3 2】



今後重要だと思う子育て支援については、「乳幼児の遊び場(公園や児童館など)の整備」が49.1%と最も多く、「小児医療体制の充実」が48.1%、「子育てへの経済的支援の充実」が40.4%となっています。

前回調査と比べて、前回と同様の傾向がみられますが、「乳幼児の遊び場(公園や児童館など)の整備」については9.6ポイント増加しています。

地域別でみると、「小見川地区」、「山田地区」、「栗源地区」では「小児医療体制の充実」が最も多くなっています。また、「栗源地区」では「保育所(園)の充実」が他の地域に比べて多くなっています。

《地域別》

単位：%

	合計 (人)	乳幼児の遊び場（公園や児童館など）の整備	小児医療体制の充実	子育てへの経済的支援の充実	子育てしながら働きやすい職場環境の整備	放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実	母子保健サービス（乳幼児健康診査や予防接種など）の充実	保育所（園）の充実	小中学生の心身の健やかな成長への支援	子育てに関する相談や情報提供の充実	親同士の交流や地域の子育て支援活動への支援	幼稚園の充実	家庭内における子育てへの参画（父親の意識啓発など）の促進	児童虐待対策の推進	その他	特に必要なものはない	無回答
全体	1,478	49.1	48.1	40.4	31.9	29.5	23.8	19.8	10.0	8.8	6.8	6.2	6.2	3.6	1.8	0.7	8.1
佐原地区	782	49.5	43.1	38.7	29.7	34.3	24.0	22.6	9.1	8.2	6.3	8.3	7.4	3.3	1.5	0.5	8.3
小見川地区	430	49.5	54.7	40.9	32.1	21.4	22.6	14.4	11.2	9.3	7.2	3.0	4.9	2.1	1.9	0.7	8.8
山田地区	149	45.6	51.0	40.3	39.6	26.8	25.5	16.1	12.1	9.4	7.4	5.4	3.4	4.7	3.4	1.3	6.7
栗源地区	89	49.4	50.6	47.2	39.3	30.3	21.3	29.2	10.1	11.2	9.0	4.5	6.7	9.0	1.1	0.0	7.9

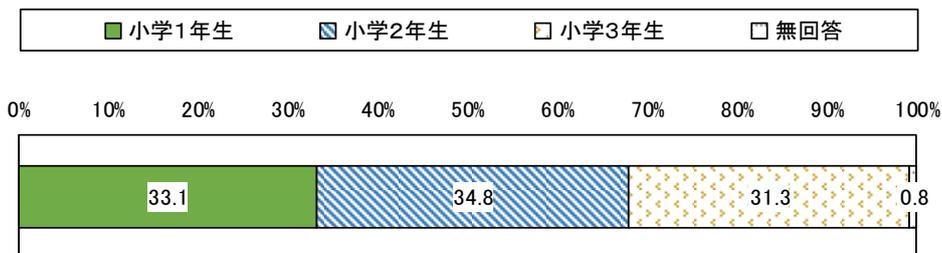
◆◆小学生保護者◆◆

1. 子どもとご家族の状況について

(1) 子どもの学年

お子さんの生年月月をご記入ください。(数字を記入) 学年に置き換えています。【問1】

(n=1,156)

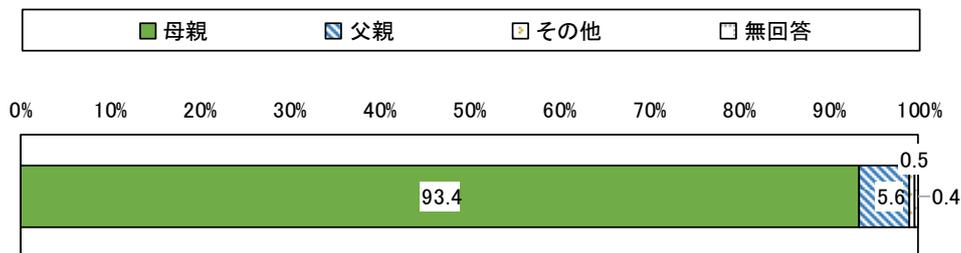


お子さんの学年は、「小学1年生」が33.1%、「小学2年生」が34.8%、「小学3年生」が31.3%となっています。

(2) 調査票回答者

このアンケートの記入者(以後、「あなた」といいます。)は、どなたですか。(1つに○)【問3】

(n=1,156)



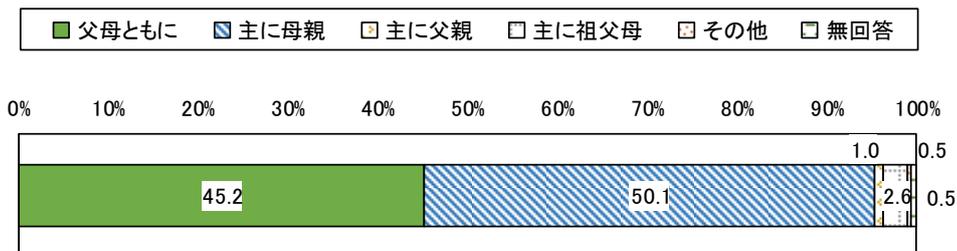
調査票の回答者については、「母親」が93.4%、「父親」が5.6%となっています。

(3) 子育てを主に行っている人

お子さんの子育てを主にしている方はどなたですか。

お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)【問5】

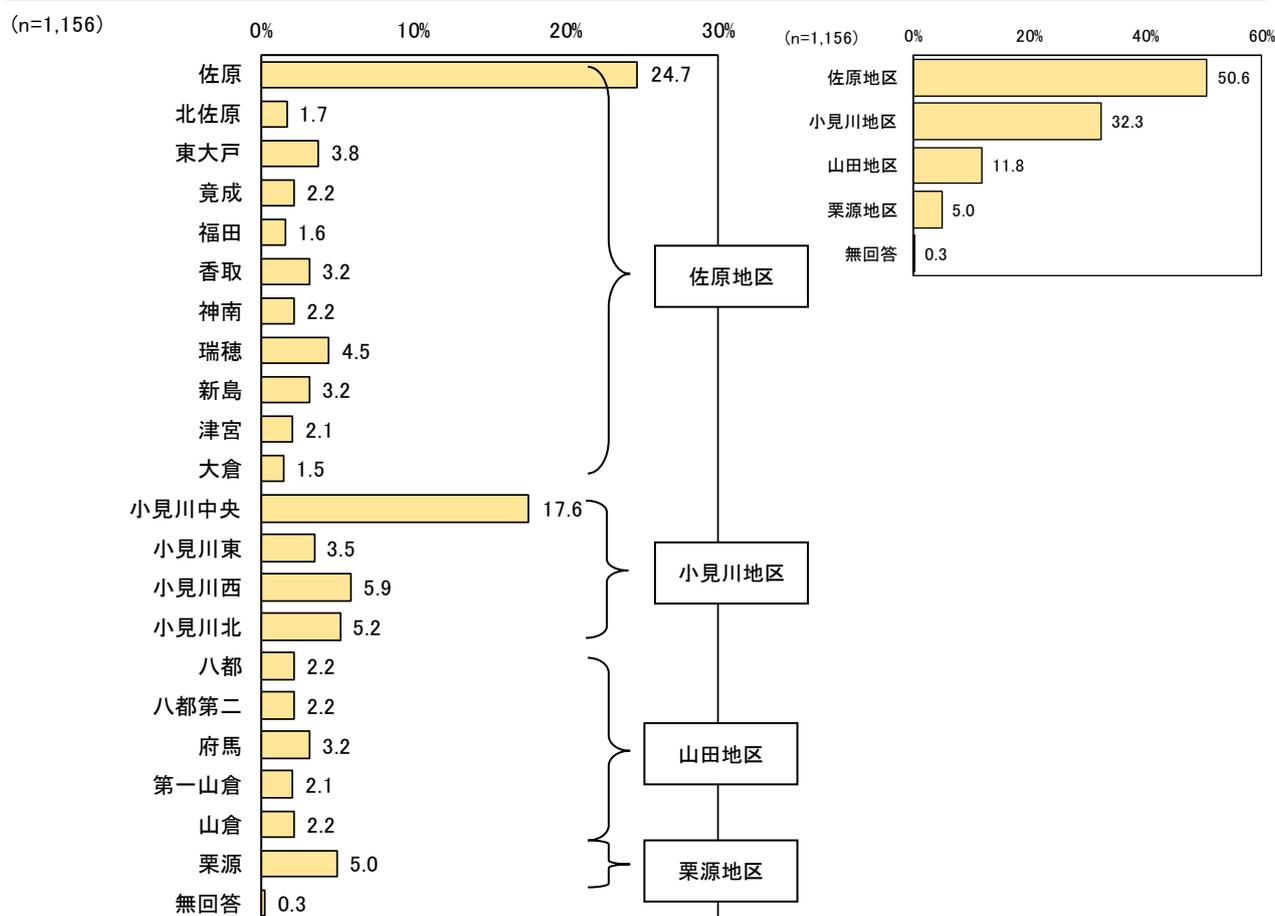
(n=1,156)



子育てを主に行っている人については、「主に母親」が50.1%と最も多く、次いで、「父母ともに」が45.2%となっています。

(4) 居住地区

お住まいの小学校区は、どちらですか。(1つに○)【問6】

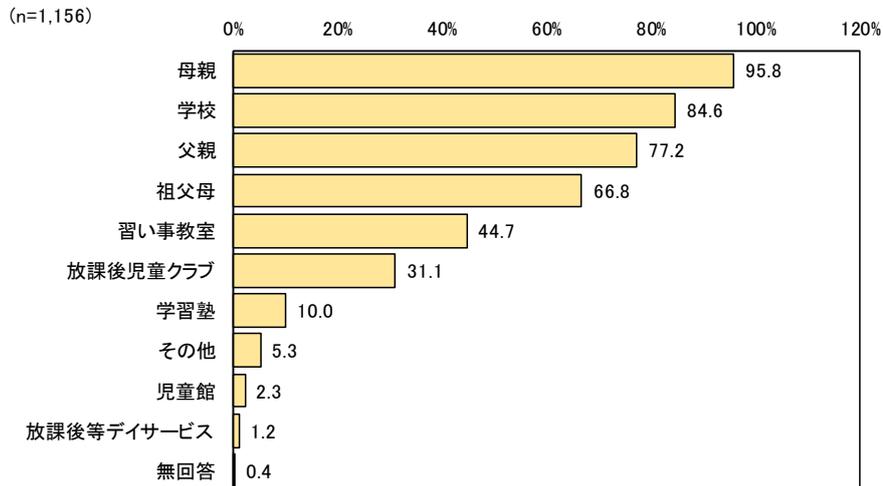


回答者の居住地区は、「佐原」との回答が24.7%と最も多く、次いで「小見川中央」が17.6%、「小見川西」が5.9%となっています。また、小学校区を地域別で再集計すると、「佐原地区」は50.6%、「小見川地区」が32.3%、「山田地区」が11.8%、「栗源地区」が5.0%となっています。

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

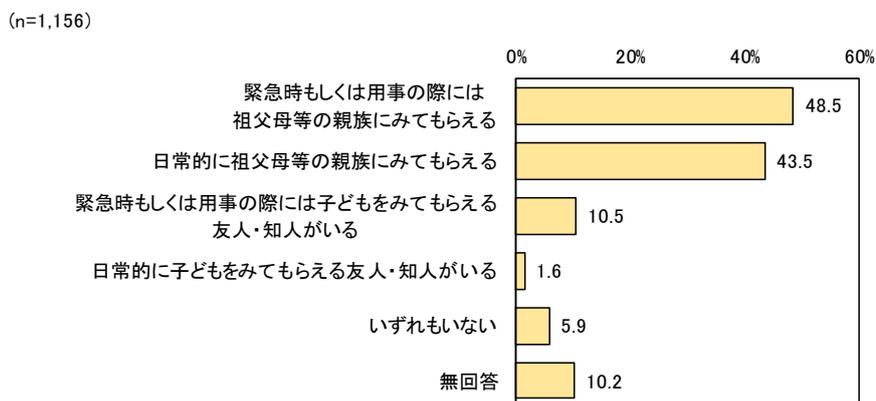
お子さんの子育てに、日常的に関わっている方（施設）すべてに○をつけてください。
 （あてはまるものすべてに○）【問7】



子育てに日常的に関わっている人・施設については、「母親」が95.8%と最も多く、次いで「学校」が84.6%、「父親」が77.2%、「祖父母」が66.8%と続いています。

(2) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

日頃、お子さんをみてもらえる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）【問9】



日頃、子どもを預かってもらえる親族の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が48.5%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が43.5%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が10.5%となっています。おおむね9割程度の家庭は、保護者以外で子どもをみてもらう先が確保されている状況です。

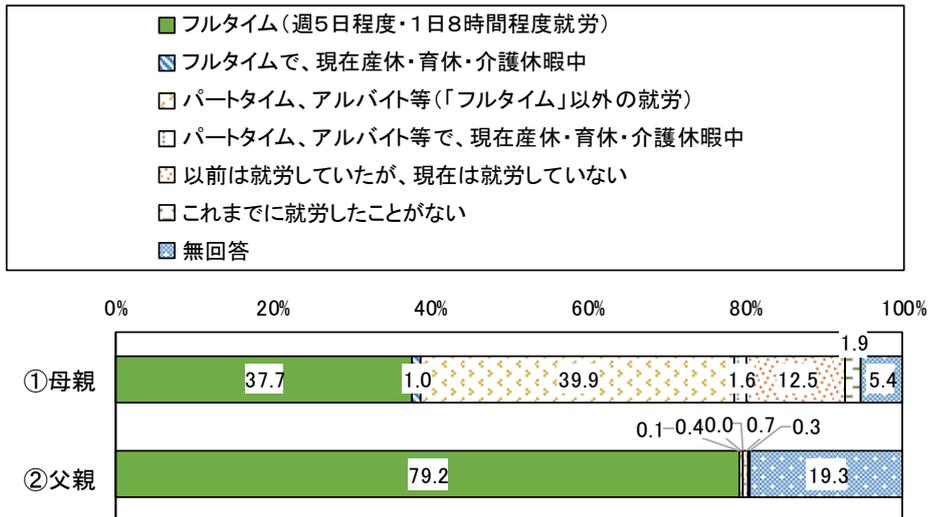
3. 保護者の就労状況について

※小学生児童保護者の就労状況について、今回は調査をしていません。

(1) 保護者の就労状況

現在の就労状況を（自営、家業従事含む）お聞きします。（1つに○）【問11】

(n=1,156)



母親の就労状況では、「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」との回答が 39.9%と最も多く、次いで「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度就労）」が 37.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 12.5%と続いています。

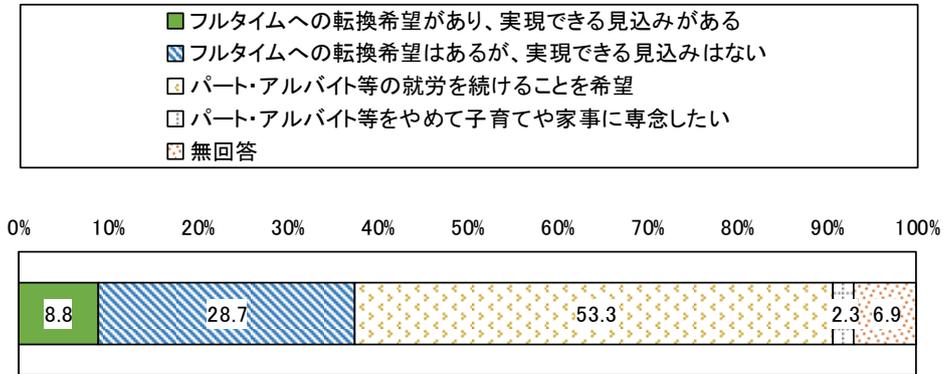
また、父親の就労状況では、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度就労）」が最も多く8割程度を占めています。

(2) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)【問11-1】

①母親

(n=480)



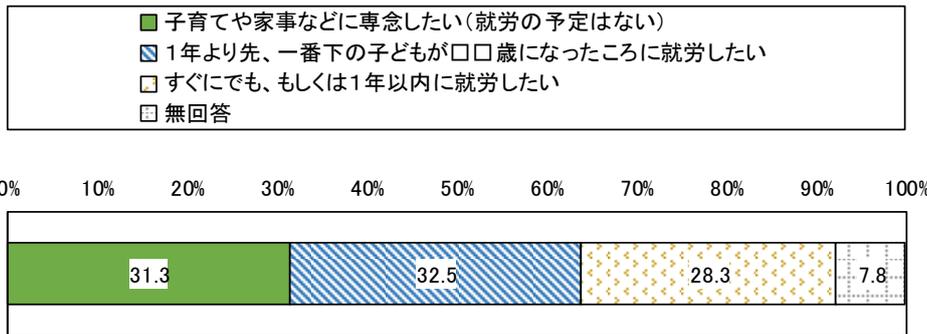
パートタイム、アルバイト等で就労している母親については、37.5%がフルタイムへの転換希望がある（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(8.8%)、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(28.7%)の合計）と回答しています。

(3) 現在就労していない母親の就労希望

就労したいという希望はありますか。(1つに○)【問11-2】

①母親

(n=166)

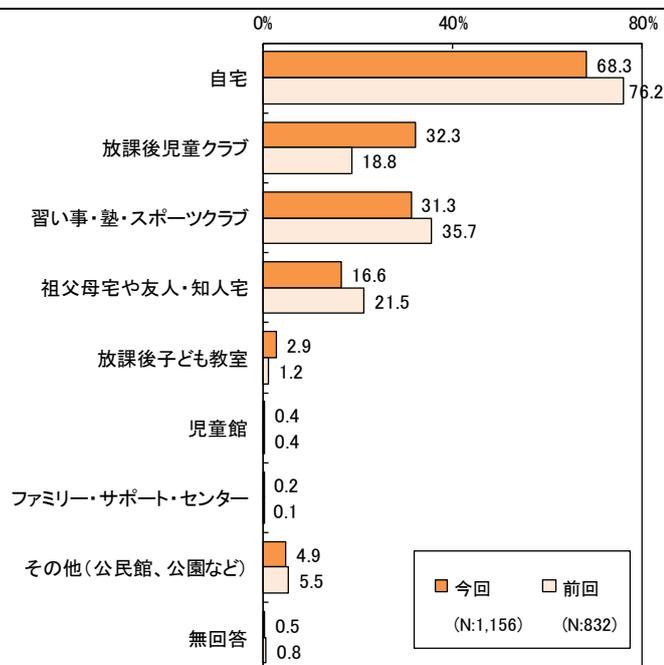


現在就労していない母親については 60.8%が今後の就労希望がある（「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(32.5%)と「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」(28.3%)の合計）と回答しています。また、「子育てや家事などに専念したい」が31.3%となっています。

4. 放課後の過ごし方について

(1) 現在の放課後過ごし方

お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）【問12】



現在、放課後をどこで過ごしているかをたずねたところ、「自宅」が68.3%と最も多く、次いで、「放課後児童クラブ」が32.3%、「習い事・塾・スポーツクラブ」が31.3%となっています。

前回調査と比べてみると、「自宅」が7.9ポイント減少し、「放課後児童クラブ」が13.5ポイント増加しています。

地域別でみると、全体と同様に「自宅」が最も多く、次いで、「佐原地区」では、「習い事・塾・スポーツクラブ」、「小見川地区」、「山田地区」、「栗源地区」では「放課後児童クラブ」が多くなっています。

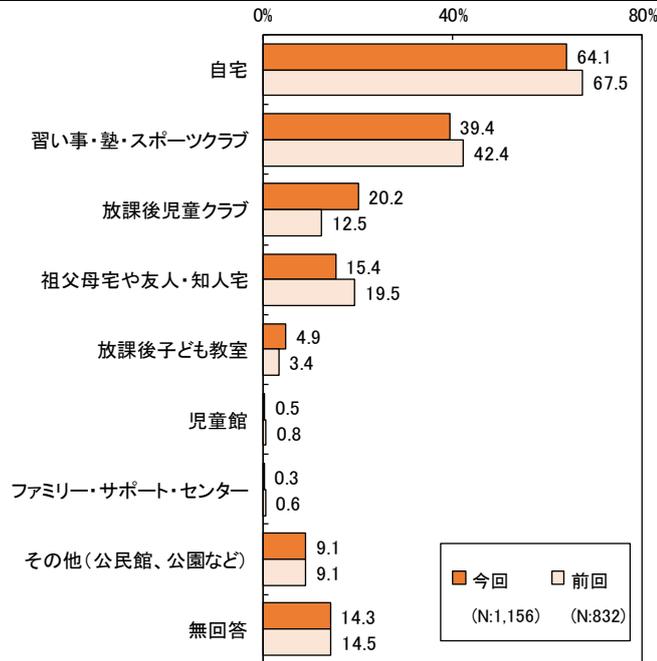
《地域別》

単位：%

	合計(人)	自宅	放課後児童クラブ	習い事・塾・スポーツクラブ	知人宅・祖父母宅や友人	放課後子ども教室	児童館	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)	無回答
全体	1,156	68.3	32.3	31.3	16.6	2.9	0.4	0.2	4.9	0.5
佐原地区	585	70.9	27.4	33.5	16.4	4.6	0.5	0.3	5.1	0.5
小見川地区	373	68.1	34.3	30.3	18.2	0.8	0.0	0.0	6.7	0.3
山田地区	136	61.8	44.1	25.7	16.9	0.7	1.5	0.0	1.5	0.0
栗源地区	58	62.1	41.4	31.0	8.6	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0

(2) 高学年になった場合に子どもを放課後過ごさせたい場所

小学校高学年（4～6年生）の放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）【問13】



小学校高学年（4～6年生）になった場合に放課後の時間をどこで過ごさせたいかをたずねたところ、「自宅」が64.1%と最も多く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」が39.4%、「放課後児童クラブ」が20.2%となっています。

前回調査と比べてみると、「放課後児童クラブ」が7.7ポイント増加しています。

地域別でみると、「佐原地区」、「栗源地区」では、2割以上が「放課後児童クラブ」と回答しており、他の地域に比べて多くなっています。

《地域別》

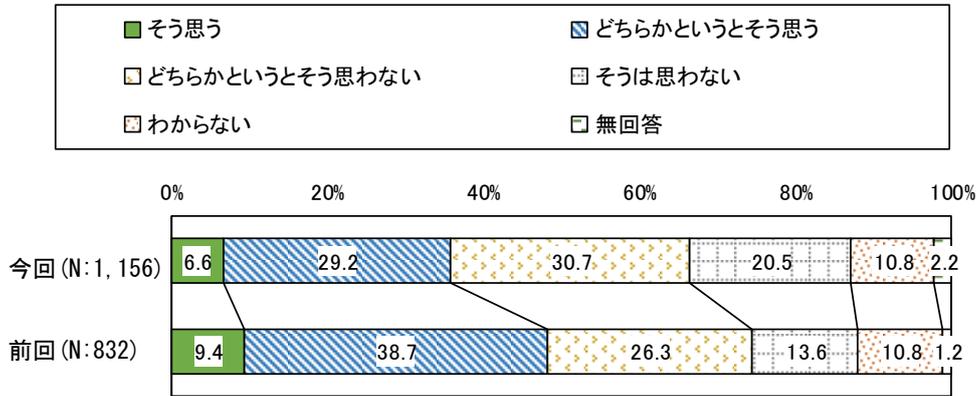
単位：%

	合計(人)	自宅	習い事・塾・スポーツクラブ	放課後児童クラブ	知人宅・祖父母宅や友人	放課後子ども教室	児童館	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)	無回答
全体	1,156	64.1	39.4	20.2	15.4	4.9	0.5	0.3	9.1	14.3
佐原地区	585	64.1	38.8	21.9	13.7	5.1	0.3	0.3	9.2	13.2
小見川地区	373	66.8	42.1	17.2	18.0	4.0	0.0	0.3	11.0	13.9
山田地区	136	61.0	41.2	19.9	17.6	7.4	2.9	0.7	6.6	16.2
栗源地区	58	58.6	27.6	24.1	12.1	3.4	0.0	0.0	1.7	19.0

5. 子育て全般について

(1) 香取市の子育てしやすさ

香取市は、子育てをしやすいまちだと思いますか。(1つに○)【問16】



香取市は子育てしやすいまちだと思うかについては、「そう思う」(6.6%)と「どちらかというと思う」(29.2%)を合わせると35.8%となっており、「どちらかというと思わない」(30.7%)、「そうは思わない」(20.5%)を合わせた51.2%を下回っています。

前回調査と比べると、子育てしやすいと「思う」と回答した人の割合が12.3ポイント減少し、「思わない」と回答した人が11.3ポイント増加しています。

地域別でみると、「小見川地区」では、「そう思う」(8.0%)と「どちらかというと思う」(33.2%)と回答した割合が41.2%と他の地域より多くなっています。

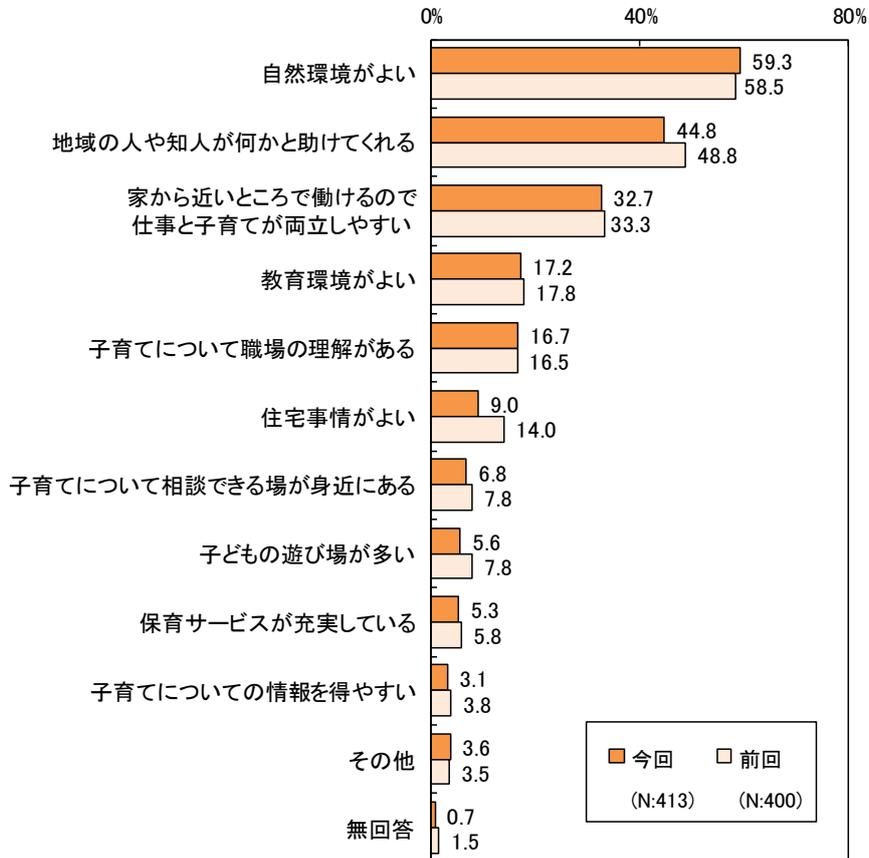
《地域別》

単位：%

	合計(人)	そう思う	そどちらかというと思う	そどちらかわかというと思う	そうは思わない	わからない	無回答
全体	1,156	6.6	29.2	30.7	20.5	10.8	2.2
佐原地区	585	5.5	26.2	31.8	23.1	10.6	2.9
小見川地区	373	8.0	33.2	27.9	18.0	11.5	1.3
山田地区	136	7.4	33.1	34.6	14.0	9.6	1.5
栗源地区	58	6.9	24.1	29.3	27.6	12.1	0.0

(2) 子育てしやすいまちだと思ふ理由

問16で「1 そう思う」または「2 どちらかというと思う」とお答えの方
その理由は何ですか。(主なもの3つまでに○)【問16-1】



子育てしやすいまちだと思ふ理由は、「自然環境が良い」が 59.3%と最も多く、次いで「地域の人や知人が何かと助けてくれる」が 44.8%、「家から近いところで働けるので仕事と子育てが両立しやすい」が 32.7%となっており、前回調査と同様の傾向がみられます。

地域別でみると、全体と同様に「自然環境がよい」が最も多く、特に「山田地区」、「栗源地区」で多くなっています。また、「栗源地区」では、「子育てについて職場の理解がある」が他の地域に比べて多くなっています。

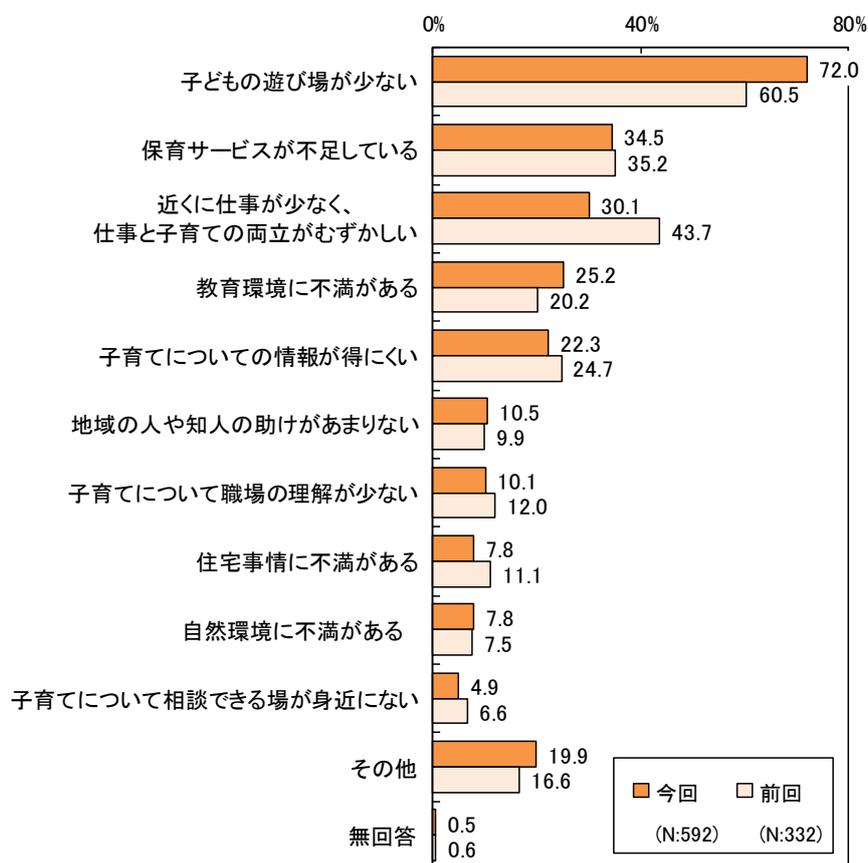
《地域別》

単位：%

	合計 (人)	自然環境がよい	地域の人や知人が何かと助けてくれる	家から近いとこ ろで働けるので 仕事と子育てが 両立しやすい	教育環境がよい	子育てについて 職場の理解がある	住宅事情がよい	子育てについて 相談できる場が 身近にある	子どもの遊び場 が多い	保育サービスが 充実している	子育てについて の情報を得やすい	その他	無回答
全体	413	59.3	44.8	32.7	17.2	16.7	9.0	6.8	5.6	5.3	3.1	3.6	0.7
佐原地区	185	58.4	44.9	33.5	19.5	17.8	10.3	4.3	7.0	3.2	3.2	2.7	1.1
小見川地区	154	50.0	42.9	34.4	14.9	14.9	8.4	8.4	3.9	8.4	2.6	5.2	0.6
山田地区	55	74.5	50.9	27.3	16.4	14.5	7.3	10.9	5.5	1.8	5.5	3.6	0.0
栗源地区	18	100.0	44.4	27.8	16.7	27.8	5.6	5.6	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0

(3) 子育てしやすいまちだと思わない理由

問16で「3 どちらかというと思わない」または「4 そうは思わない」とお答えの方その理由は何ですか。(主なもの3つまでに○)【問16-2】



子育てしやすいまちだと思わない理由は、「子どもの遊び場が少ない」が 72.0%と最も多く、次いで「保育サービスが不足している」が 34.5%、「近くに仕事が多く、仕事と子育ての両立がむずかしい」が 30.1%となっています。

前回調査と比べて、「子どもの遊び場が少ない」が 11.5 ポイント増加し、「近くに仕事が多く、仕事と子育ての両立がむずかしい」が 13.6 ポイント減少しています。

地域別でみると、「子どもの遊び場が少ない」では、「佐原地区」、「小見川地区」、「山田地区」、「保育サービスが不足している」では「佐原地区」、「栗源地区」、「近くに仕事が多く、仕事と子育ての両立がむずかしい」では、「栗源地区」が多くなっています。また、「栗源地区」では「教育環境に不満がある」が他の地域に比べて多くなっています。

《地域別》

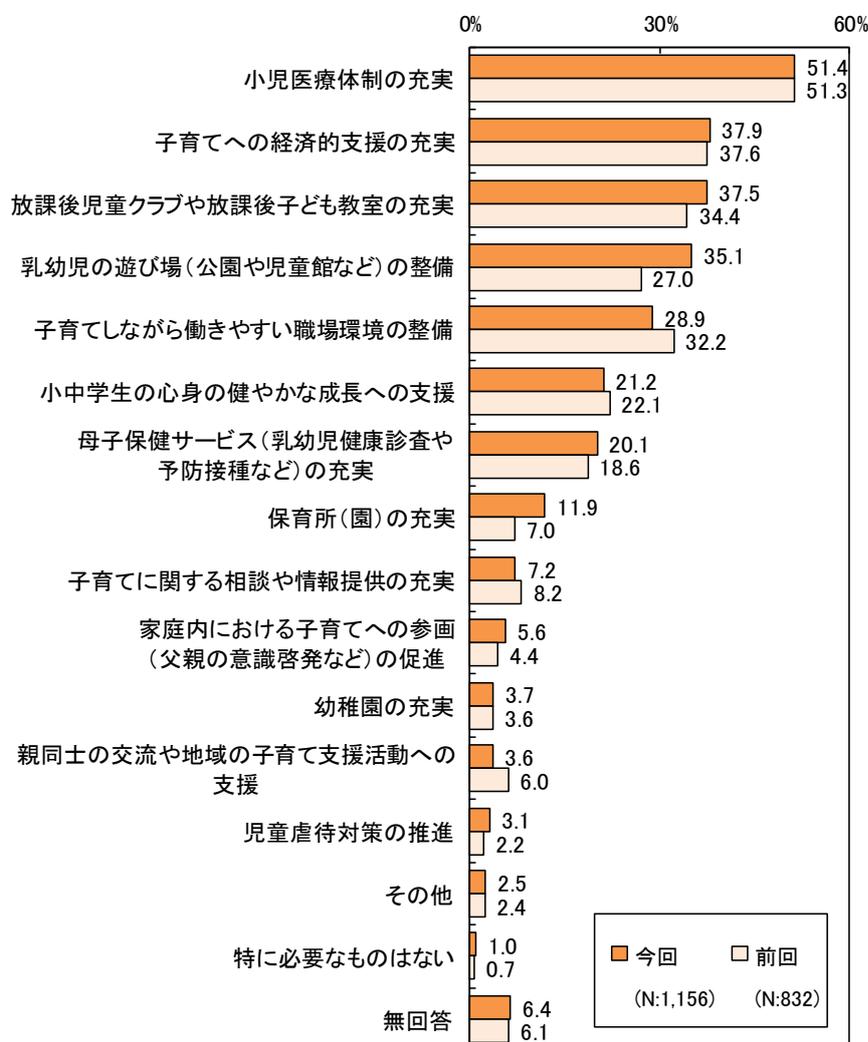
単位：%

	合計 (人)	子どもの遊び場が少ない	保育サービスが不足している	近くに仕事が多く、仕事と子育ての両立がむずかしい	教育環境に不満がある	子育てについての情報が得にくい	地域の人や知人の助けがあまりない	子育てについて職場の理解が少ない	住宅事情に不満がある	自然環境に不満がある	身近にない 子育てについて相談できる場が	その他	無回答
全体	592	72.0	34.5	30.1	25.2	22.3	10.5	10.1	7.8	7.8	4.9	19.9	0.5
佐原地区	321	70.7	40.8	30.5	24.3	24.0	11.2	9.0	7.5	9.3	5.0	17.1	0.3
小見川地区	171	77.2	24.6	28.7	22.2	22.8	10.5	11.7	6.4	4.7	4.1	22.8	1.2
山田地区	66	75.8	25.8	27.3	25.8	12.1	4.5	12.1	9.1	10.6	1.5	24.2	0.0
栗源地区	33	48.5	42.4	39.4	48.5	24.2	15.2	9.1	15.2	3.0	15.2	21.2	0.0

(4) 今後重要だと思う子育て支援

子育てをしやすいまちづくりのために、今後どのようなことが最も重要だと思いますか。

(主なもの3つまでに○)【問22】



今後重要だと思う子育て支援については、「小児医療体制の充実」が51.4%と最も多く、次いで、「子育てへの経済的支援の充実」が37.9%、「放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実」が37.5%となっています。

前回調査と比べて同様の傾向がみられますが、「乳幼児の遊び場(公園や児童館など)の整備」については8.1ポイント増加しています。

地域別でみると、全体と同様に「小児医療体制の充実」が最も多く、次いで「佐原地区」、「栗源地区」では「放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実」、「小見川地区」、「山田地区」では「子育てへの経済的支援の充実」が多くなっています。また、「栗源地区」では「子育てしながら働きやすい職場環境の整備」、「保育所(園)の充実」が他の地域に比べて多くなっています。

《地域別》

単位：%

	合計 (人)	小児医療体制の充実	子育てへの経済的支援の充実	放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実	乳幼児の遊び場（公園や児童館など）の整備	子育てしながら働きやすい職場環境の整備	小中学生の心身の健やかな成長への支援	母子保健サービス（乳幼児健康診査や予防接種など）の充実	保育所（園）の充実	子育てに関する相談や情報提供の充実	家庭内における子育てへの参画（父親の意識啓発など）の促進	幼稚園の充実	親同士の交流や地域の子育て支援活動への支援	児童虐待対策の推進	その他	特に必要なものはない	無回答
全体	1,156	51.4	37.9	37.5	35.1	28.9	21.2	20.1	11.9	7.2	5.6	3.7	3.6	3.1	2.5	1.0	6.4
佐原地区	585	47.5	35.9	41.7	36.2	27.9	22.1	17.4	12.8	6.8	6.2	4.1	3.4	2.7	1.9	0.9	6.0
小見川地区	373	57.9	39.7	31.1	37.0	29.8	18.5	24.4	8.6	8.0	5.6	2.9	3.2	3.5	3.5	1.6	6.7
山田地区	136	47.8	43.4	32.4	27.9	27.2	25.7	21.3	10.3	7.4	2.2	2.9	6.6	2.2	2.9	0.0	6.6
栗源地区	58	58.6	36.2	48.3	29.3	37.9	19.0	17.2	29.3	5.2	8.6	6.9	1.7	6.9	1.7	0.0	5.2

◆◆まとめ◆◆

(1) 保護者の就労状況について

就学前児童保護者の就労については、父親はフルタイム、母親はフルタイムやパート・アルバイトで就労している割合が多くなっています。母親については、前回調査と比較しても就労している割合は高くなり、また、今後も何らかの形態で就労を続ける希望が多く、育児をしながらの就労を継続する家庭が多いことがうかがえます。

さらに、現在就労していなくても、近い将来に就労したいと考えている母親も多くなっています。

(2) 教育・保育等施設・サービスの利用と利用意向について

就学前児童保護者の保育・教育の利用状況と今後の利用の意向については、両親ともに就労している家庭が多い状況を反映し、現在利用している事業・今後利用したい施設・サービスはともに「保育所（園）」、「認定こども園」が多い傾向がうかがえます。現在の利用割合に比べて、利用したい施設としての回答が多い傾向がみられたのが「認定こども園」でした。

また、土曜・休日保育や一時預かりについても、一定の利用希望はあることがうかがえました。

核家族化の進行、共働き世帯の増加等により、今後も施設・サービスの利用は伸びていくことが考えられます。

全国の市町村において、その増加に対応していくことに苦慮していますが、将来の需要を見極めつつ、保育所（園）、認定こども園及び幼稚園と連携しながら、安心して預けられる環境の構築が求められています。

(3) 放課後の過ごし方について

放課後の過ごし方の現状や利用意向については、就学前児童保護者と小学生児童保護者ともに、主に「自宅」、「放課後児童クラブ」、「習い事・塾・スポーツクラブ」が多くなっています。特に「放課後児童クラブ」については、保護者の就労状況の変化もあり前回調査に比べて割合が多くなっています。

(4) 子育て支援全般について

子育てしやすいまちだと思える理由は、「自然環境が良い」、「地域の人や知人が何かと助けてくれる」などの回答が多い一方で、子育てしやすいまちだと思わない理由は、「子どもの遊び場が少ない」、「保育サービスが不足している」などの回答が多くなっています。

今後重要だと思える子育て支援については、前回調査同様に「乳幼児の遊び場（公園や児童館など）の整備」、「小児医療体制の充実」、「子育てへの経済的支援の充実」、「放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実」などの回答が多くなっています。今後も、すべての子どもが健やかに成長し、切れ目なく安心して支援を受けられる環境づくりが重要です。

子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書 概要版

発 行／香取市
編 集／香取市 福祉健康部 子育て支援課
〒287-8501 千葉県香取市佐原口 2127 番地
T E L 0478-54-1111 (代表)
発 行／平成 31 年 3 月
